

# 今帰仁村 湧川区

集落  
部門

## 伝統芸能と世代をつなぐふるさとづくり (平成28年度認定)



今帰仁村湧川区は、今帰仁村の東側に位置する羽地内海に面した集落である。農業を主な産業としており、土地改良事業により農地の整備も行われ、現在はパインや花き等が主として栽培されている。

集落においては、豊年祭は毎年住民総出で開催され、県の無形民俗文化財にも指定されている「路地楽(ろじがく)」等が住民の手によって演じられる。その様子はマスコミにも取り上げられ、集落外からも多くの人が訪れる。また、その歴史的重要性から県の内外で演じた実績もある。

また、集落内における美化活動や近隣の御嶽へお参りする「嶽の御願」、その年に生まれた子供を集落内に紹介する「ワラビミチ」、戦争体験を子供たちへ伝える「慰霊祭」など、様々な年中行事を通して伝統文化や歴史を次世代へと継承するべく積極的に世代間交流を行っている。

また、地域ぐるみで地域美化活動や農業施設の保全などの共同活動を行うなど、集落が一体となった農村の多面的機能が発揮されている。

近年では新たな取組みとして「総合展示会」を企画し、世代間、区民間の交流を深めるなど魅力あるふるさとづくりに取り組んでいることから、「沖縄、ふるさと百選」集落部門に認定された。



伝統芸能 七福神



伝統芸能 獅子舞



農村文化 ワラビミチ



地域美化活動及び保全活動



慰霊祭



花・盆栽総合展示会